

2003 年 6 月号
No.404

りゅうぎん調査 2003 年 6 月号

Bank of the Ryukyus'
Okinawan Economic Review

No.404



琉球銀行調査部

<http://www.ryugin.co.jp/>

県内の景気動向

概況（４月）

景気は、持ち直しの動き続く

観光関連では、入域観光客数、ホテル稼働率・売上が前年を下回る

建設関連では、公共工事請負額が再び前年を上回る

４月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店売上高およびスーパー売上高（既存店ベース）は引き続き前年を下回ったものの、新車販売は１年１カ月連続で前年を上回り、電気製品卸売も２カ月連続で前年を上回った。建設関連では、公共工事請負額が再び前年を上回ったものの、主要建設会社の受注額は３カ月ぶりに前年を下回った。建設資材売上は鋼材が前年を上回ったもののセメント、生コン、建材は引き続き前年を下回った。観光関連では、入域観光客数がイラク戦争等の影響により９カ月ぶりに前年を下回り、主要ホテルの稼働率・売上高ともに前年を下回った。主要観光施設入場者数は新水族館を除けば全般に振るわなかった。

総じてみると、観光関連に一服感がみられるものの、建設関連に一部再び持ち直しの動きがみられ、消費関連は概ね堅調な動きを続けていることから、県内景気は、持ち直しの動きが続いている。

業界予想ＤＩ：新車販売、セメント・生コンが５０％割れとなる

０３年５月～７月の業界予想ＤＩは、５０％超は前回調査時と変わらず１業種となり、５０％ちょうどは２業種減って１業種となり、５０％割れは２業種増加して６業種となった。個人消費関連では、新車販売が５０％ちょうどから５０％割れへと悪化し、百貨店・スーパーは５０％超を続け、電気製品卸売は５０％割れを続けた。建設関連では、セメント・生コンが５０％ちょうどから５０％割れへと悪化し、鋼材・建材が５０％ちょうどを続け、建設受注は５０％割れを続けた。観光関連では、ホテル、ゴルフ場ともに５０％割れを続けた。

消費関連

百貨店売上高は、引き続き他業態との競合により７カ月連続で前年を下回った。スーパー売上高（既存店）は、衣料品の不調が続き３カ月連続で前年を下回った。新車販売は、軽乗用車と小型乗用車が伸びたことにより１年１カ月連続して前年を上回った。電気製品卸売は、エアコン、テレビ、洗濯機等の増加により２カ月連続で前年を上回った。

建設関連

公共工事請負額は、県および国の発注工事が増加したことから再び前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共、民間工事ともに減少し、３カ月ぶりに前年を下回った。建設資材関連では、鋼材がホテルやサービス業用建造物等向け出荷がみられことから前年を上回ったものの、セメント、生コン、建材はいずれも住宅建設向け出荷が鈍く引き続き前年を下回った。

観光関連

入域観光客数は、国内客がイラク戦争の影響で伸び悩み、外国客が台湾観光客の減少が続き不調だったことから９カ月ぶりに前年を割り込んだ。県内主要ホテルの稼働率・売上高も前年を下回った。主要観光施設入場者数は新水族館を除けば台湾客の減少等から全般に振るわなかった。ゴルフ場は入場者数、売上高ともに５カ月連続で前年を下回った。

雇用関連

新規求人数（３月）は９カ月連続で前年を上回った。有効求人倍率（３月、季調値）は前月より改善した。完全失業率（３月）は７.５％で前年同月より改善した。

その他

消費者物価（３月、総合）は４年連続で前年を下回った。企業倒産では件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回った。電力使用量（３月）は３カ月連続で前年を上回った。

りゅうぎん調査（２００３年４月）

増減率（％）

	前年同月比	前年同期比 (2003.2 - 2003.4)
1.消費関連		
(1)百貨店（金額）	▲ 14.5	▲ 10.2
(2)スーパー（既存店）（金額）	▲ 1.8	▲ 1.0
(3)新車販売（台数）	9.5	12.7
(4)電気製品卸売（金額）	9.4	1.3
(5)食品等卸売（金額）	P 4.7	P 3.5
2.建設関連		
(1)新設住宅着工戸数（戸）	(3月) 98.1	(1-3月) 21.7
(2)建築着工床面積（㎡）	(3月) 45.4	(1-3月) 1.5
(3)公共工事請負額（金額）	34.0	2.4
(4)建設受注額（金額）	▲ 33.9	10.5
(5)セメント（トン数）	▲ 14.2	▲ 10.7
(6)生コン（㎥）	▲ 15.2	▲ 13.0
(7)鋼材（金額）	11.2	6.9
(8)建材（金額）	▲ 4.9	▲ 4.7
3.観光関連		
(1)入域観光客数（人数）	▲ 3.2	0.6
(2)県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) ▲ 0.6 (実数 73.5)	▲ 1.5 (実数 82.6)
(3) " 売上高（金額）	▲ 5.3	▲ 0.3
(4)観光施設入場者数（人数）	16.0	13.2
(5)ゴルフ場入場者数（人数）	▲ 3.8	▲ 3.0
(6) " 売上高（金額）	▲ 8.2	▲ 5.4
4.その他		
(1)県内新規求人数（人数）	(3月) 22.6	(1-3月) 40.6
(2)有効求人倍率（季調値）	(3月) (実数) 0.38	(1-3月) (実数) 0.37
(3)消費者物価指数（総合）	(3月) ▲ 0.4	(1-3月) ▲ 0.5
(4)企業倒産件数（件数）	(前年同月差) 0	(前年同期差) ▲ 0.7
(5)電力使用量（百万Kw）	(3月) 1.8	(1-3月) 1.6
(6)広告収入（県内マスコミ）（金額）	(3月) 18.1	(1-3月) 7.4

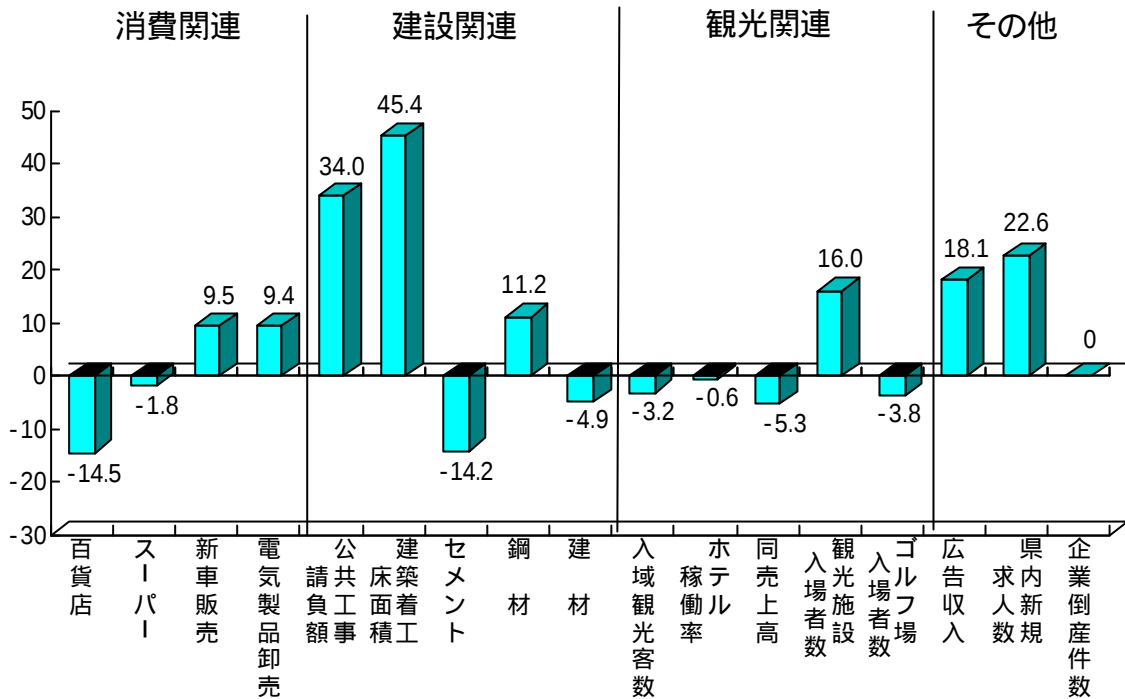
（注１）新設住宅着工戸数、建築着工床面積は国土交通省調べ。公共工事請負額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。入域観光客数、県内新規求人数、有効求人倍率、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

（注２）企業倒産件数の前年同期差は、月平均件数の前年同期差。

（注３）ホテルは、2002年9月より調査先を19ホテルから18ホテルとした。

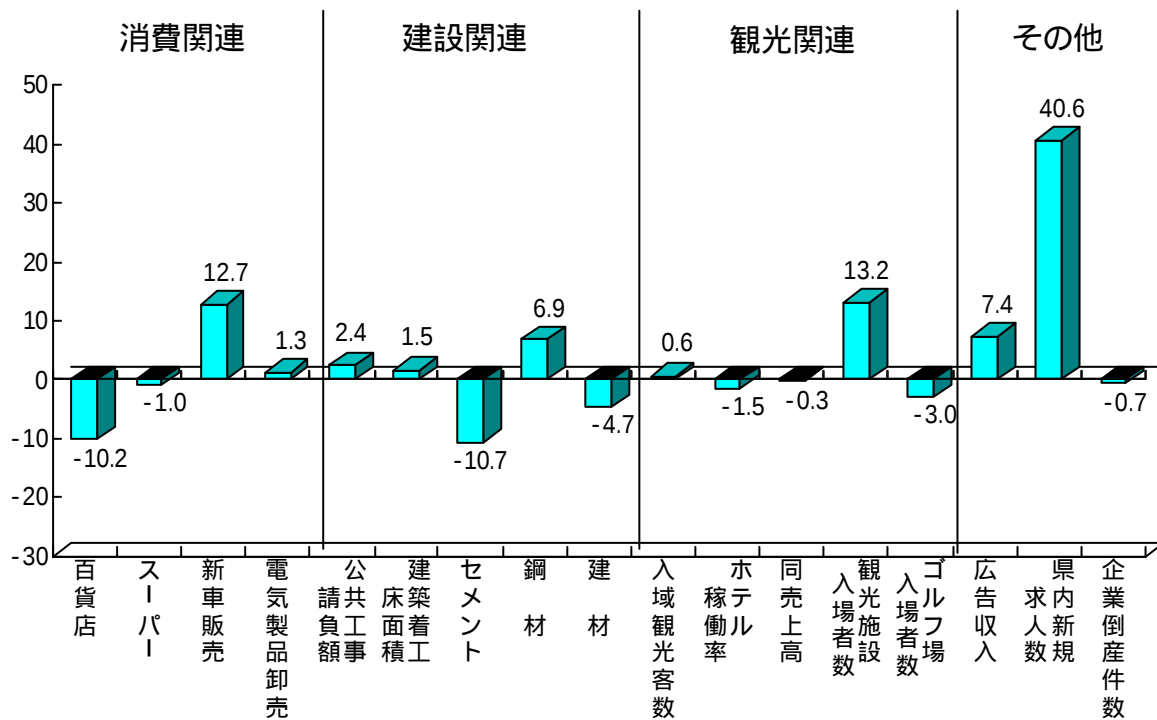
（注４）鋼材、建材は2003年4月より一部データの見直しを行った。

りゅうぎん調査（2003年04月）
（数値は前年比、前年差：％）



（注）建築着工床面積、広告収入、県内新規求人数は 3月分。

りゅうぎん調査（2003年02月～2003年04月）
（数値は前年同期比、前年同期差：％）

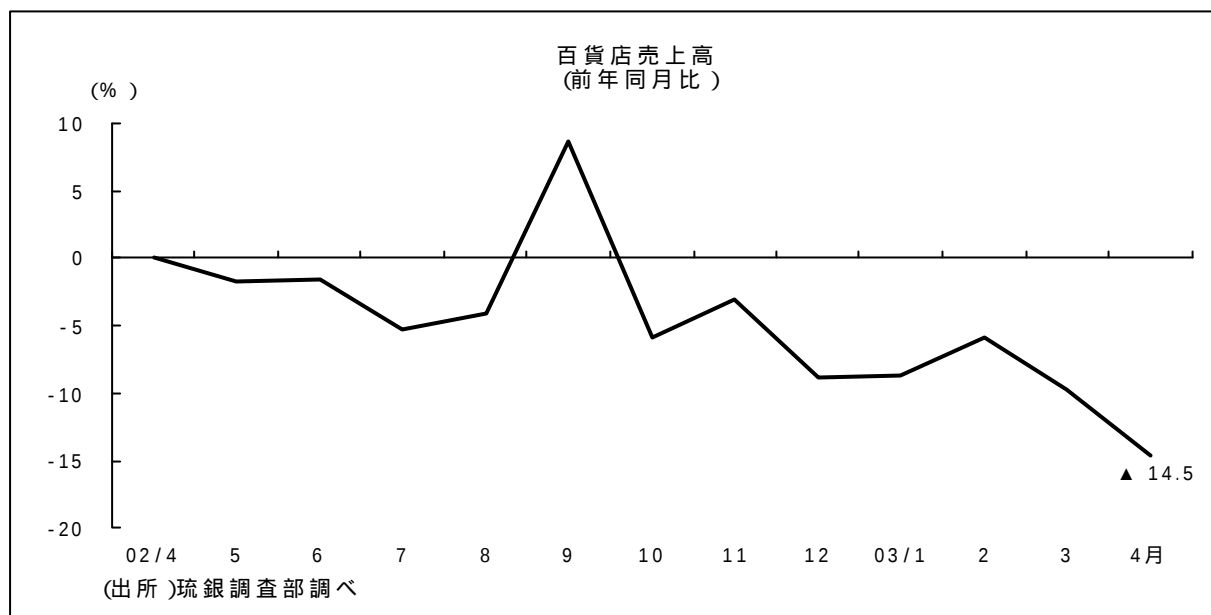


（注）建築着工床面積、広告収入、県内新規求人数は 1～3月分。

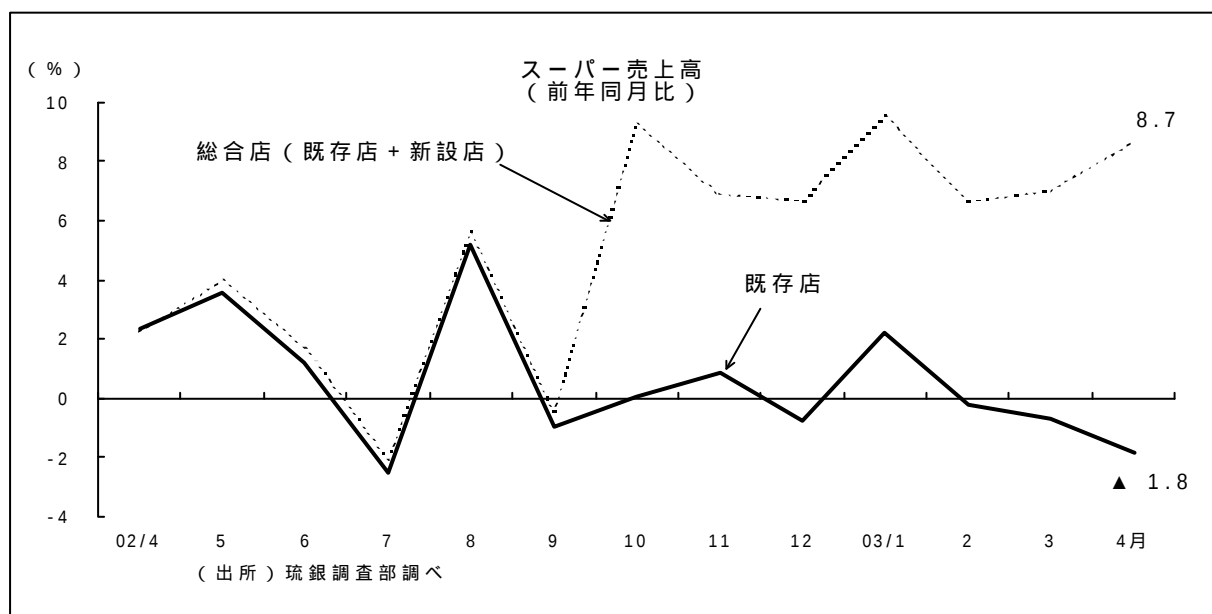
1. 消費関連

(1) 百貨店、スーパー：百貨店売上高は7カ月連続で前年を下回った

スーパー売上高（既存店）は3カ月連続で前年を下回った



百貨店売上高は、前年同月比 14.5%の減少となり、7カ月連続で前年を下回った。品目別にみると、衣料品（同 17.5%減）、身の回り品（同 23.0%減）、サービス等その他（同 12.6%減）、食料品（同 3.3%減）、家庭用品（同 16.4%減）ともに前年を下回った。



スーパー売上高

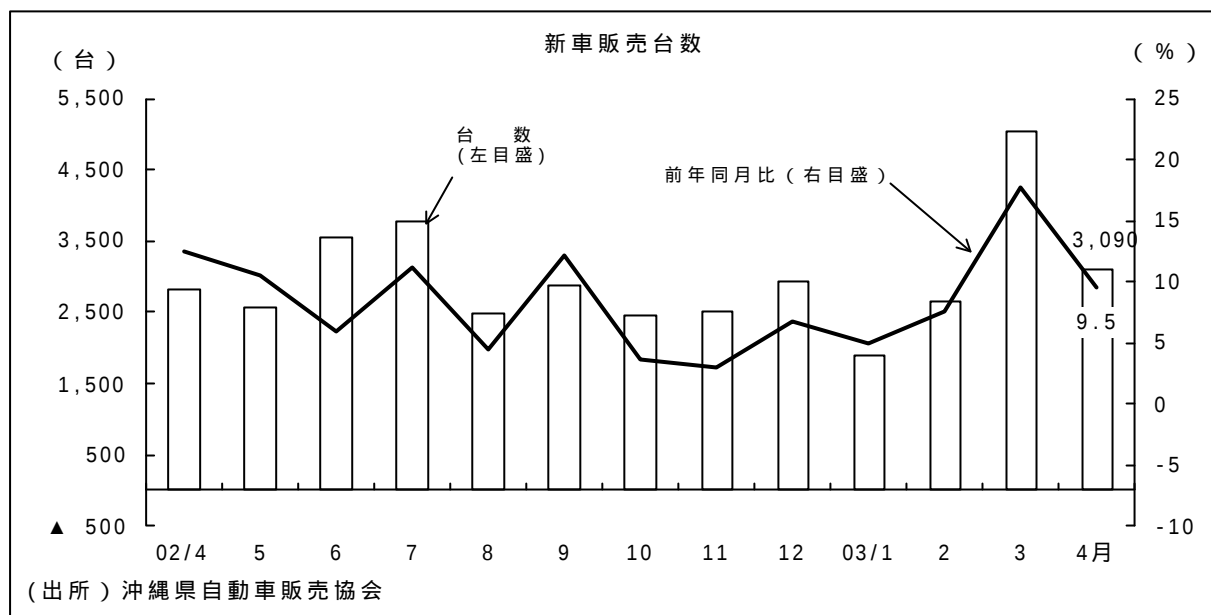
既存店ベースは、前年同月比 1.8%の減少となり、3カ月連続で前年を下回った。

新設店を含む売上高（総合店ベース）は、同 8.7%の増加となり、7カ月連続で前年を上回

った。

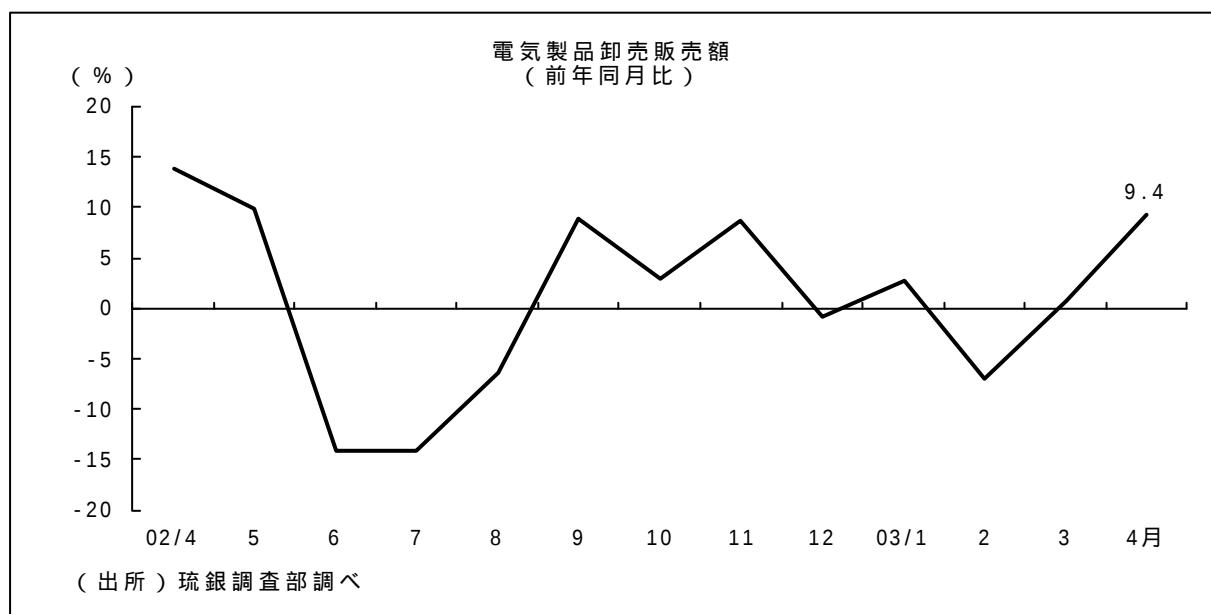
百貨店とスーパーの売上高合計（既存店ベース）は、同 3.3%の減少となり、3カ月連続で前年を下回った。

(2) 新車販売 : 1 年 1 カ月連続で前年を上回る



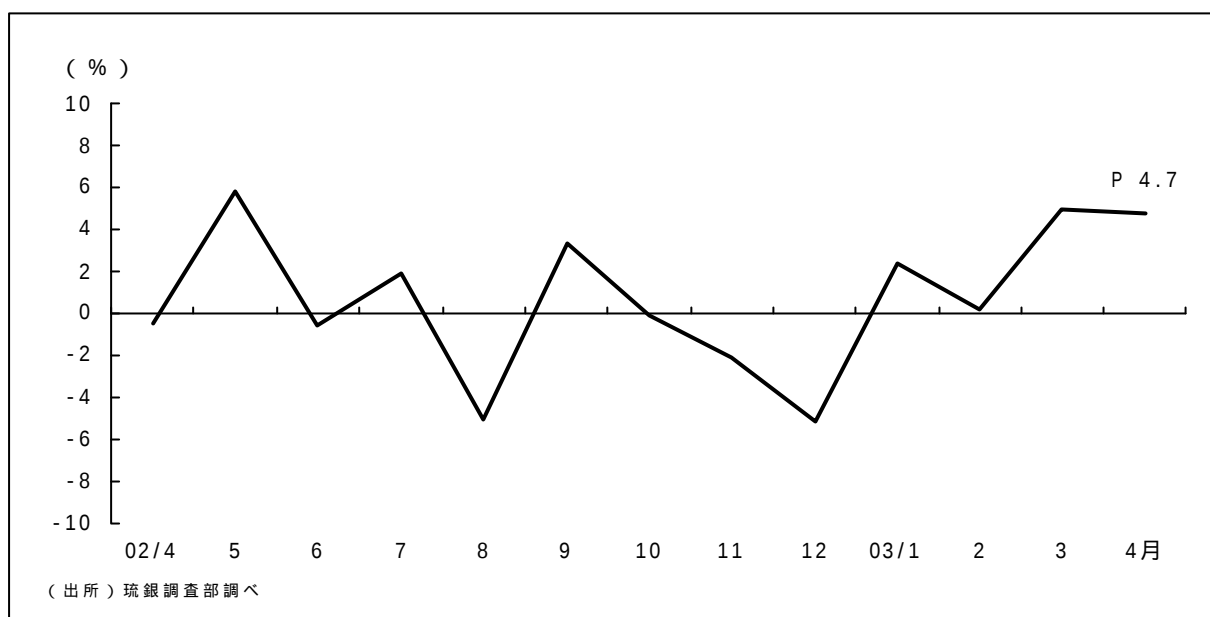
新車販売台数は 3,090 台となり、前年同月比 9.5%増と 1 年 1 カ月連続で前年を上回った。普通自動車（登録車）は、1,340 台（前年同月比 6.2%増）で、うち普通乗用車は、199 台（同 8.3%減）となった。軽自動車（届出車）は、1,750 台（同 12.1%増）で、うち軽乗用車は、1,460 台（同 14.1%増）となった。

(3) 電気製品卸売 : 2 カ月連続で前年を上回る



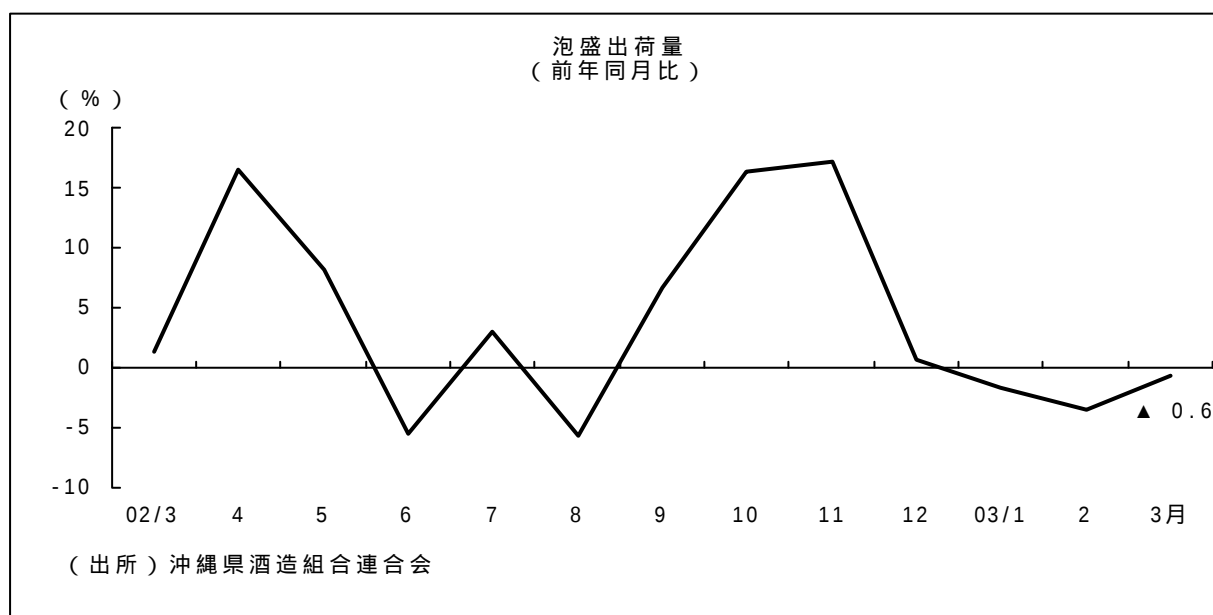
電気製品卸売販売額は、前年同月比 9.4%増となり 2 カ月連続で前年を上回った。主要家電（前年同月比 6.6%増）、その他電気製品（同 11.8%増）ともに前年を上回った。主要家電の内訳をみると、エアコン（同 13.5%増）、テレビ（同 13.6%増）、洗濯機（同 6.4%増）、レンジ（同 17.6%増）は前年を上回ったものの、冷蔵庫（同 2.9%減）、オーディオ（同 8.1%減）、VTR（同 0.6%減）は前年を下回った。

(4) 食品等卸売業 : 4 カ月連続で前年を上回る



食品等卸売業の販売額(4月速報値)は、前年同月比 4.7%増と4カ月連続で前年を上回った。

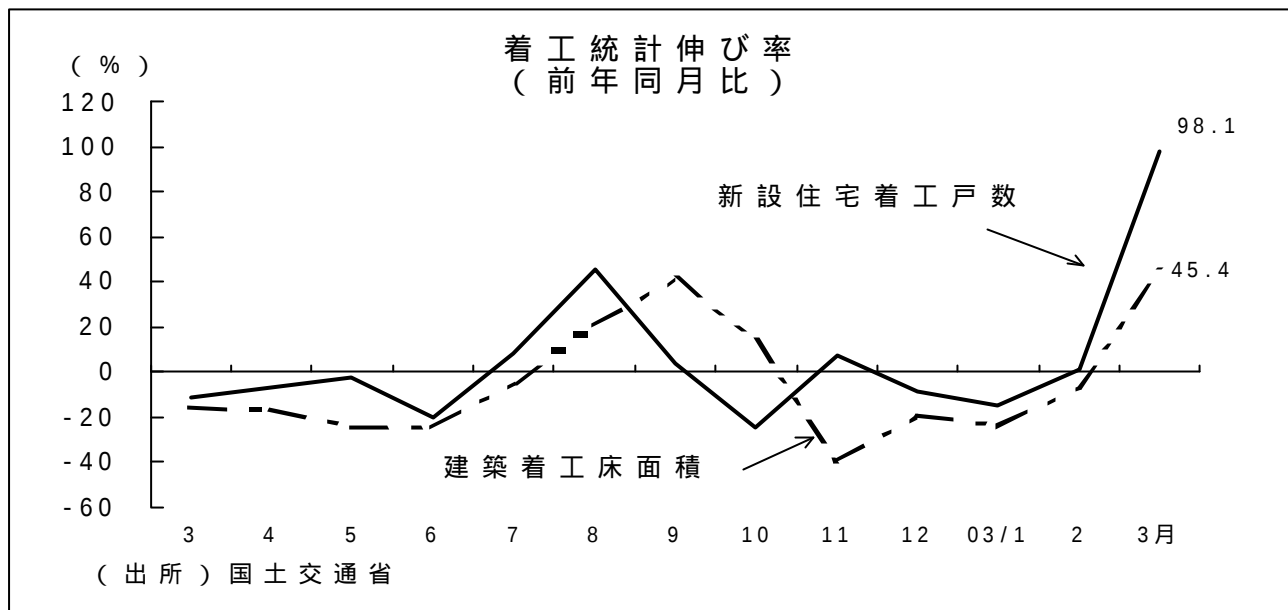
(5) 泡盛出荷量 : 泡盛出荷量は3カ月連続で前年を下回った



泡盛出荷量(3月)は前年同月比で 0.6%減少した。内出荷量は同 5.1%減少した。
 少した。県外出荷量は同 35.7%増加したが、県

2. 建設関連

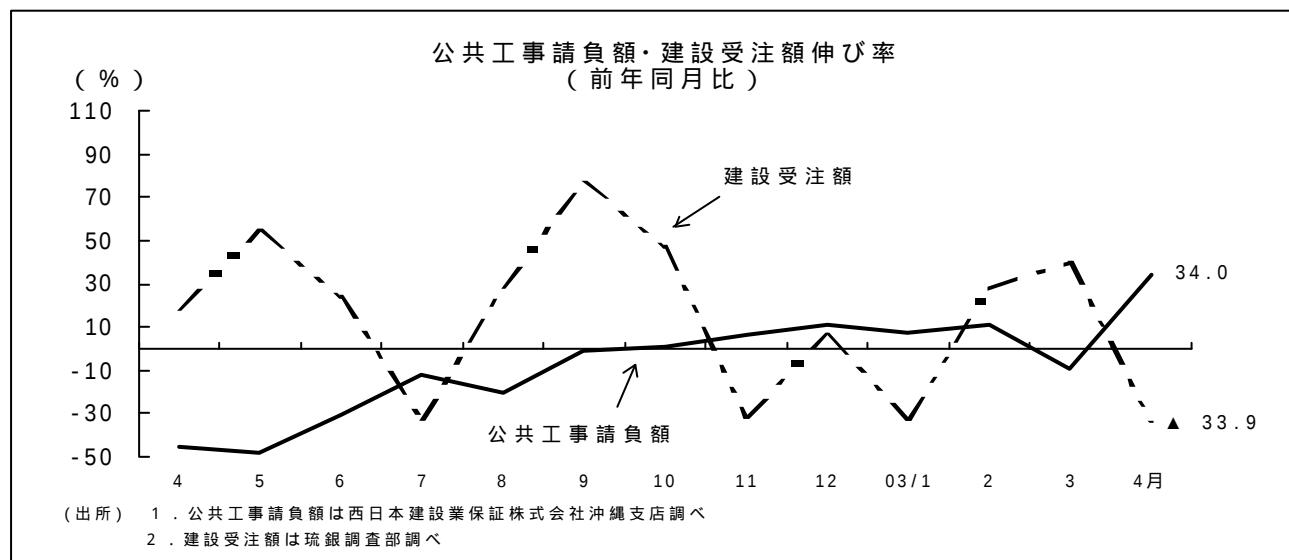
(1) 着工統計：新設住宅着工戸数がほぼ倍増



新設住宅着工戸数(3月)は1,708戸で、前年同月比 98.1%増とほぼ倍増した。利用関係別では、貸家(同 140.7%増)が大幅増加となったほか、分譲(同 39.3%増)、持家(同 8.8%増)も増加した。

建築着工床面積(3月)は19万2,353㎡で、前年同月比 45.4%増加した。用途別では、サービス業用(同 526.1%増)が大幅増加となったほか、居住用(同 66.6%増)、商業用(同 38.6%増)等が増加した。

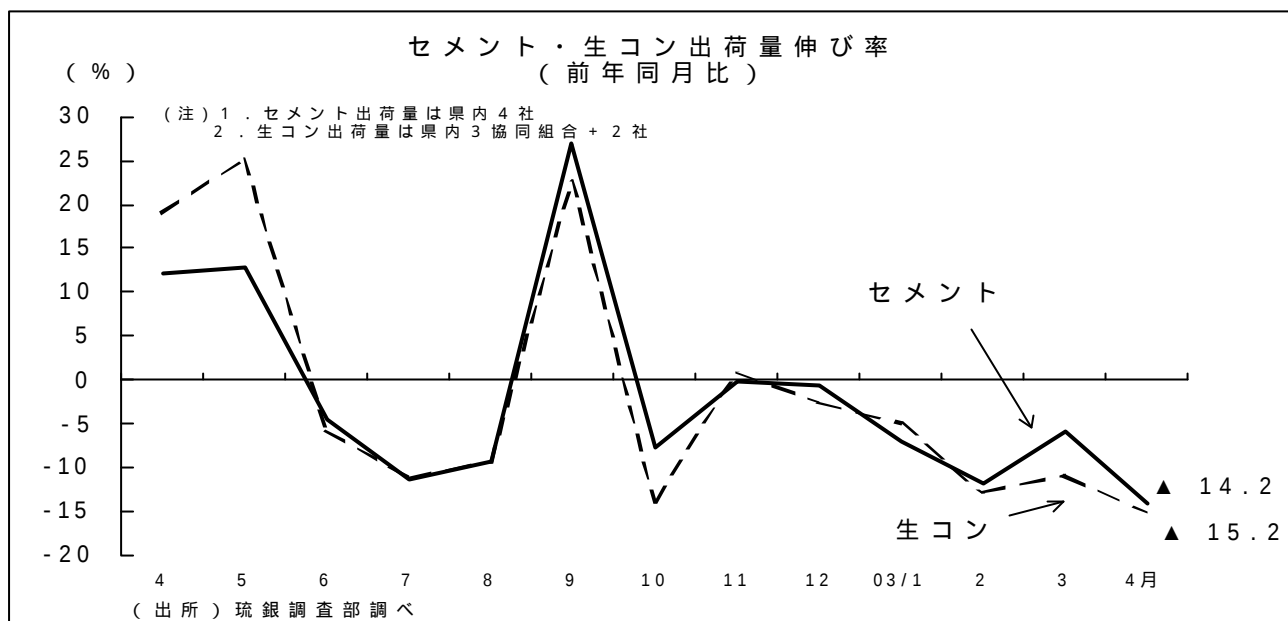
(2) 公共工事請負額・建設受注額：公共工事請負額が2カ月ぶりに増加



公共工事請負額は184億72百万円で前年同月比 34.0%増と、2カ月ぶりに前年水準を上回った。発注者別では、「市町村」(同 5.0%減)が減少したものの、「県」(同 76.9%増)、「国」(同 46.2%増)が増加した。

建設受注額(県内建設会社：20社)は、前年同月比 33.9%減となった。発注者別では、公共工事(同 32.9%減)、民間工事(同 34.7%減)ともに減少した。

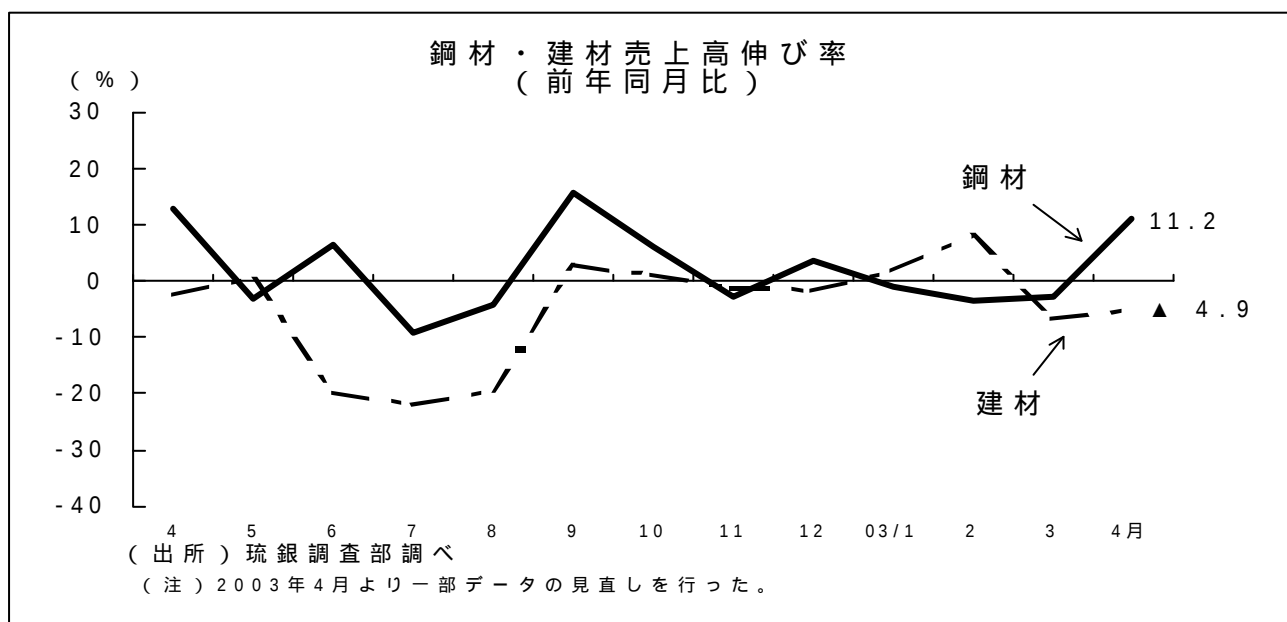
(3) セメント・生コン：セメント・生コンともに減少



セメント出荷量は 7 万 352 トンで前年同月比 14.2%減となり、7 カ月連続で前年を下回った。

生コン出荷量は 15 万 7,683 立方メートルで前年同月比 15.2%減と 5 カ月連続で減少した。公共工事向け出荷は基地工事が増加したものの港湾関連工事等が減少し、民間工事向け出荷は個人住宅建設等が減少した。

(4) 鋼材・建材：鋼材が増加したものの、建材は減少

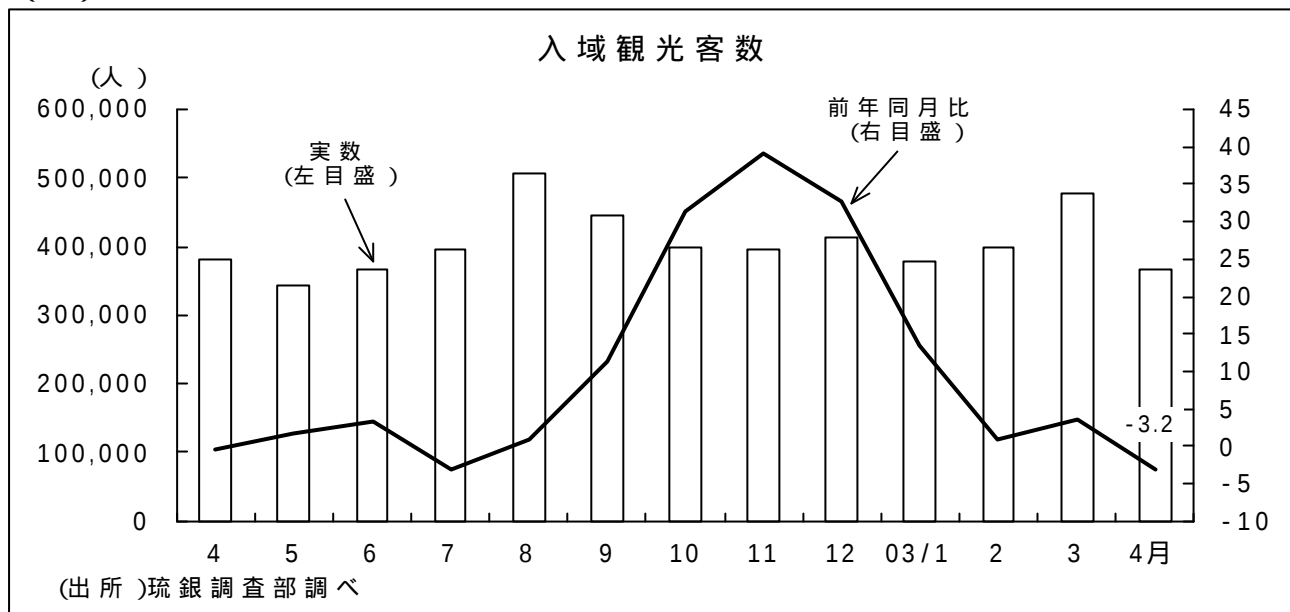


鋼材売上高は、前年同月比 11.2%の増加となった。ホテルやサービス業用建造物、公営団地向け等に出荷がみられた。

建材売上高は、前年同月比 4.9%の減少となった。住宅を中心に建築着工床面積の減少(02 年 12 月～03 年 2 月の前年同期比 17.5%減)が続いたこと等から、建材出荷も鈍い動きとなっている。

3. 観光関連

(1) 入域観光客数：9カ月ぶりの減少

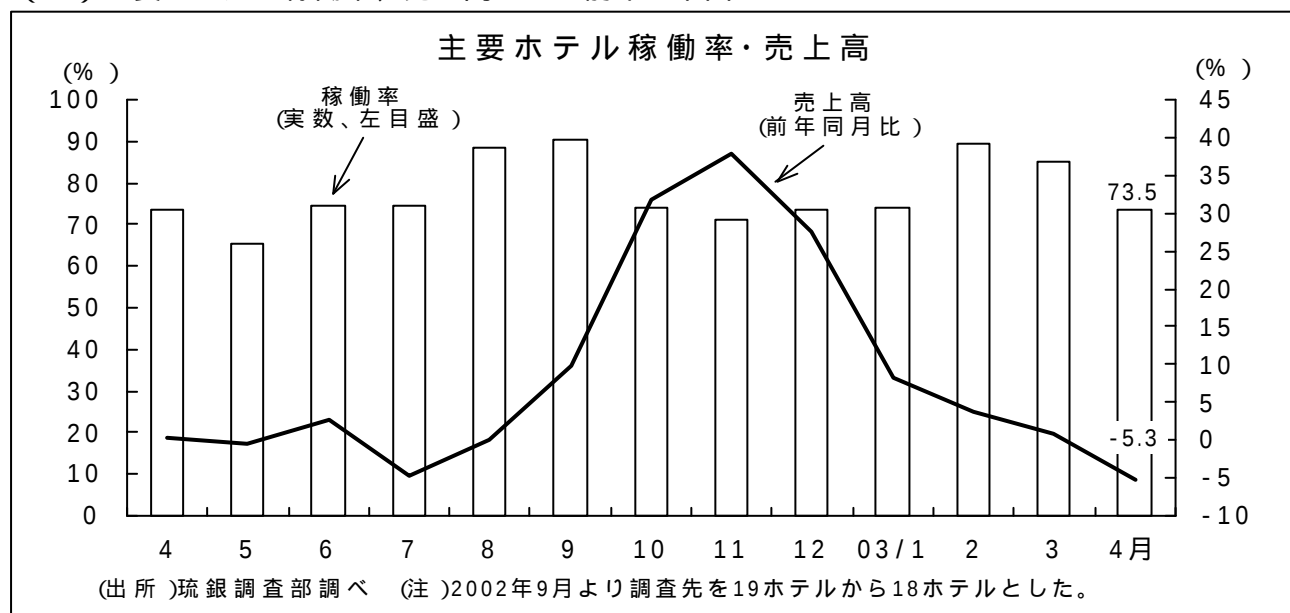


入域観光客数は、368,000人で外国客の減少やイラク戦争の影響による修学旅行等のキャンセル発生等により前年同月比3.2%減と9カ月ぶりに減少した。うち国内客は前年並み、外国客

は台湾路線減少などにより同72.2%減と引き続き大幅減少となった。

5月20日までの国内航空入域客数をみると、前年同期比2.8%増となっている。

(2) 主要ホテル：稼働率、売上高ともに前年を下回る



主要ホテルの客室稼働率は、73.5%と前年同月比0.6ポイント減と前年をわずかに下回った。売上高は宿泊単価の減少から5.3%減となった。イラク戦争の影響によりホテルによっては、中学校の修学旅行や一部の一般団体客にキャンセルが発生し稼働率・売上高を大きく落とした。

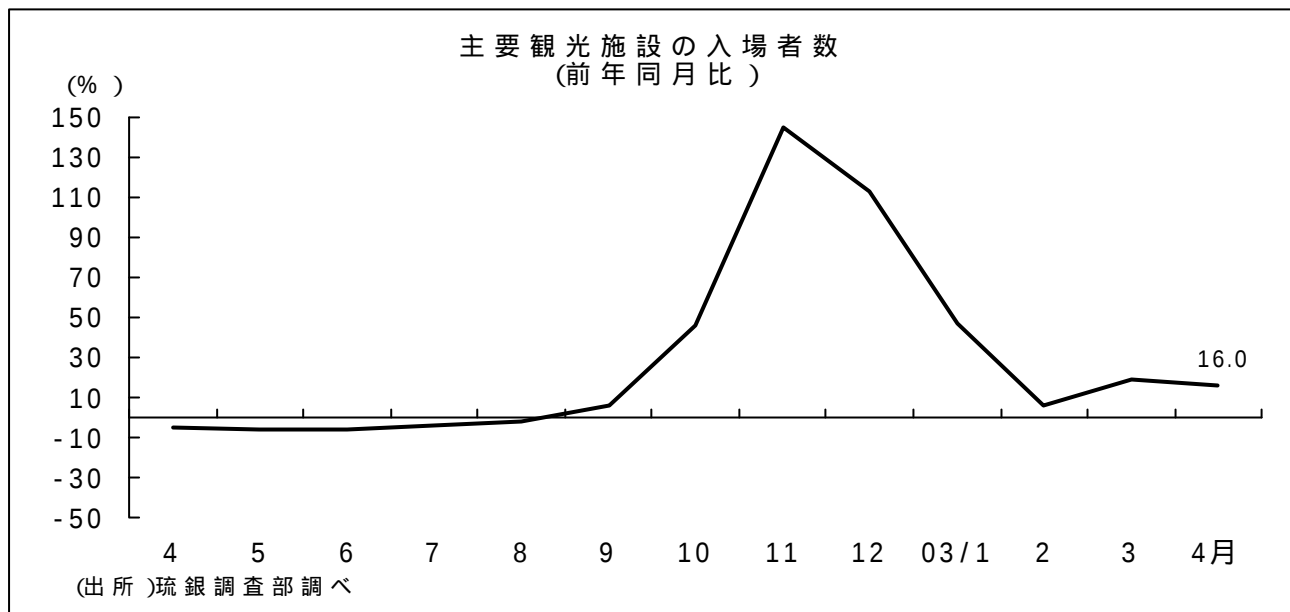
那覇市内大手ホテル

稼働率は74.3%で同1.9ポイント減少した。売上高は同7.3%減となった。

リゾート型ホテル

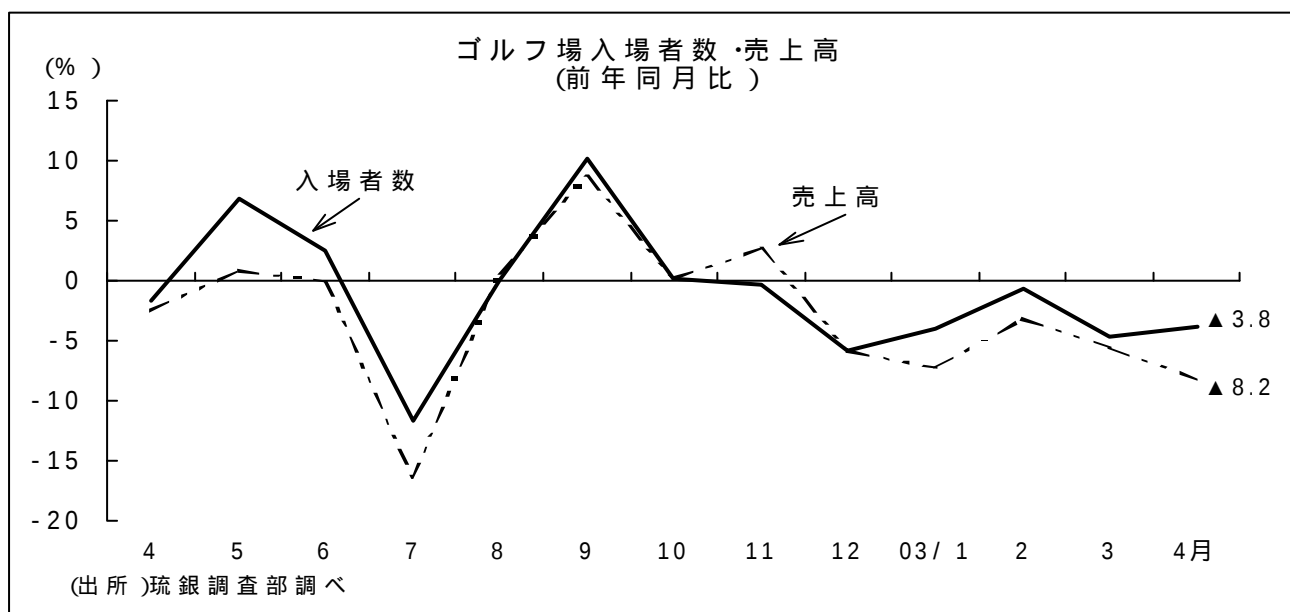
稼働率は72.9%で同0.3ポイント増加した。売上高は同4.3%減となった。

(3) 主要観光施設入場者数：引き続き増加



主要観光施設の延べ入場者数は、前年同月比 16.0%増と施設全般では台湾客の減少の影響等から総じて低調な動きが続くなか、新水族館の伸びに支えられ8カ月連続の増加となった。

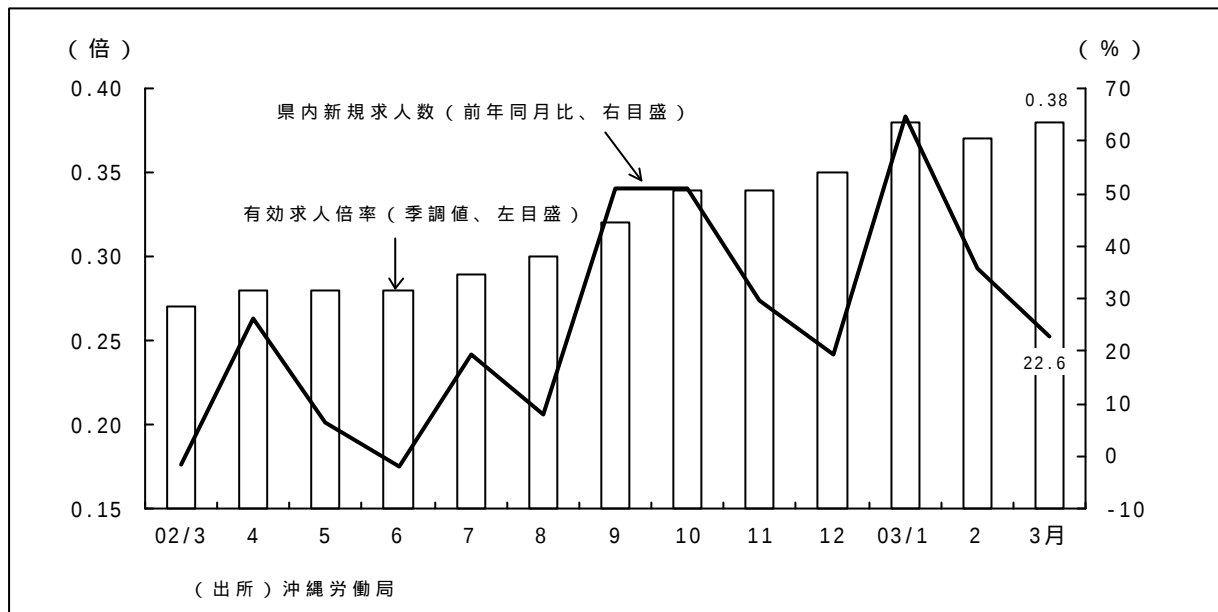
(4) 主要ゴルフ場稼働状況：入場者、売上高とも5カ月連続で減少



主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 3.8%減、売上高は同 8.2%減と5カ月連続の減少となった。入場者の内訳では、県外客、県内客ともに減少した。

4. その他

(1) 雇用関連：新規求人数は9カ月連続で前年を上回る



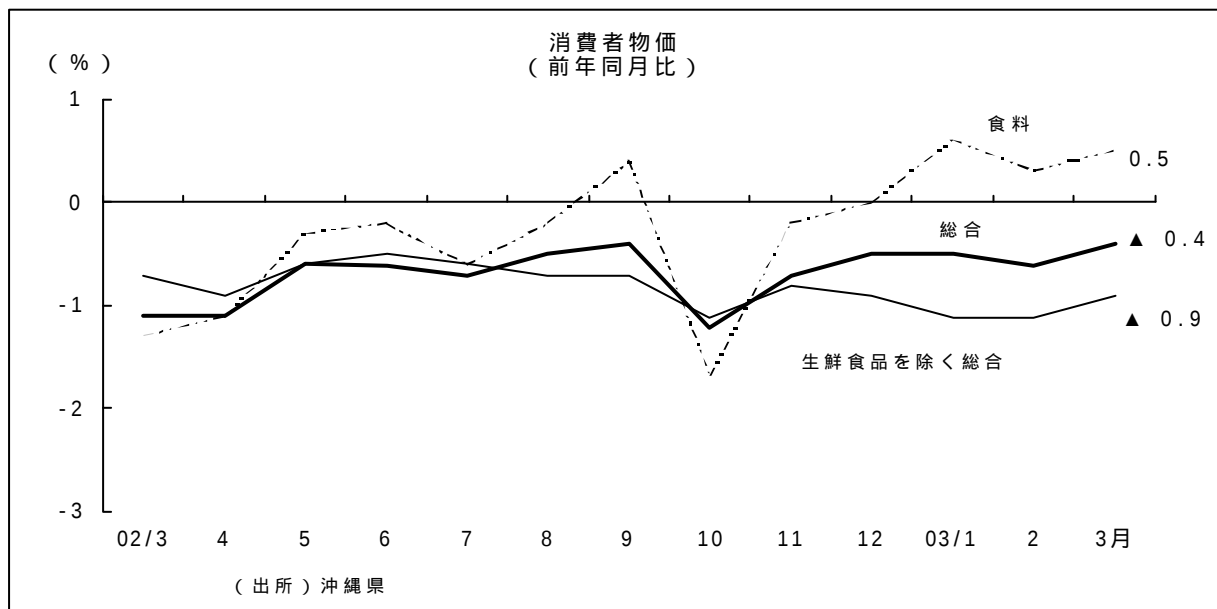
有効求人倍率（3月）は0.38倍となり、前月から0.01ポイント改善した。

新規求人数（3月）は前年同月比22.6%増となり9カ月連続で前年を上回った。製造業、サービス業、卸売・小売業、飲食店、運輸・通信業などで増加した。

労働力人口（3月）は642千人で、前年同月比4.2%増加した。就業者数は593千人で、前年同月比5.1%の増加となった。

完全失業者（3月）は48千人で、前年同月比9.4%減となった。完全失業率は7.5%で、前年同月より1.1ポイント改善した。

(2) 消費者物価：総合は4年連続で前年を下回る

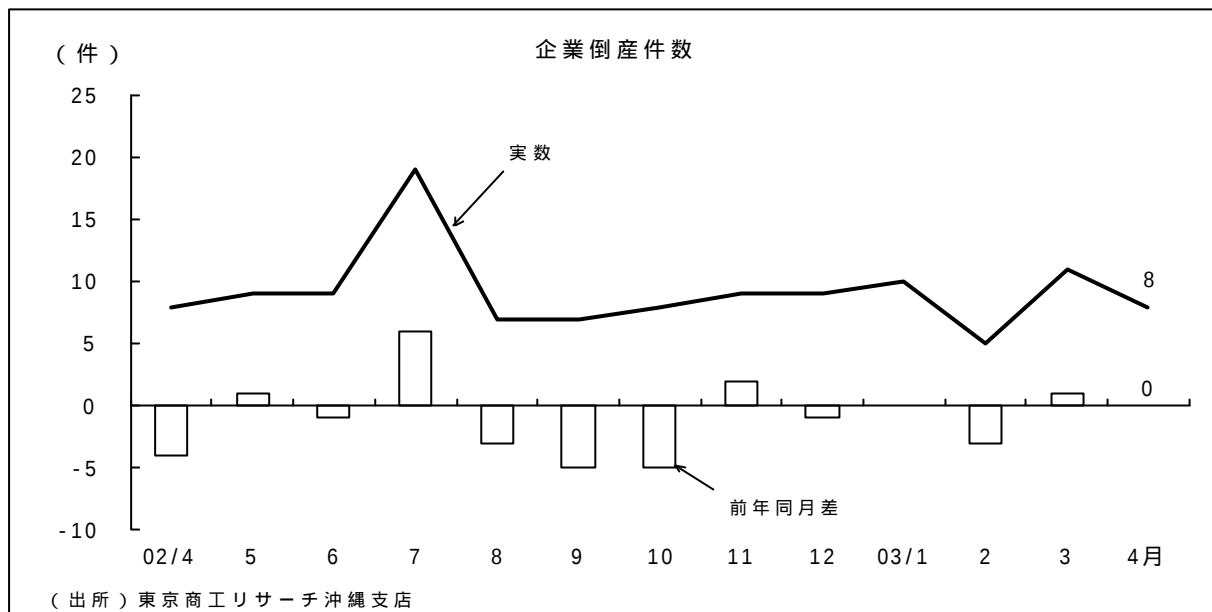


消費者物価指数総合（3月）は前年同月比0.4%の下落となった。

品目別に前年同月の動きをみると、食料は0.5%、教育は1.7%、保健医療は0.1%上昇した。一方、被服及び履物は6.4%、光熱・水道

は2.4%、交通通信は0.8%、家具・家事用品は2.0%、教養娯楽は0.4%、住居は0.1%、諸雑費は0.1%下落した。

(3) 企業倒産：件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回る

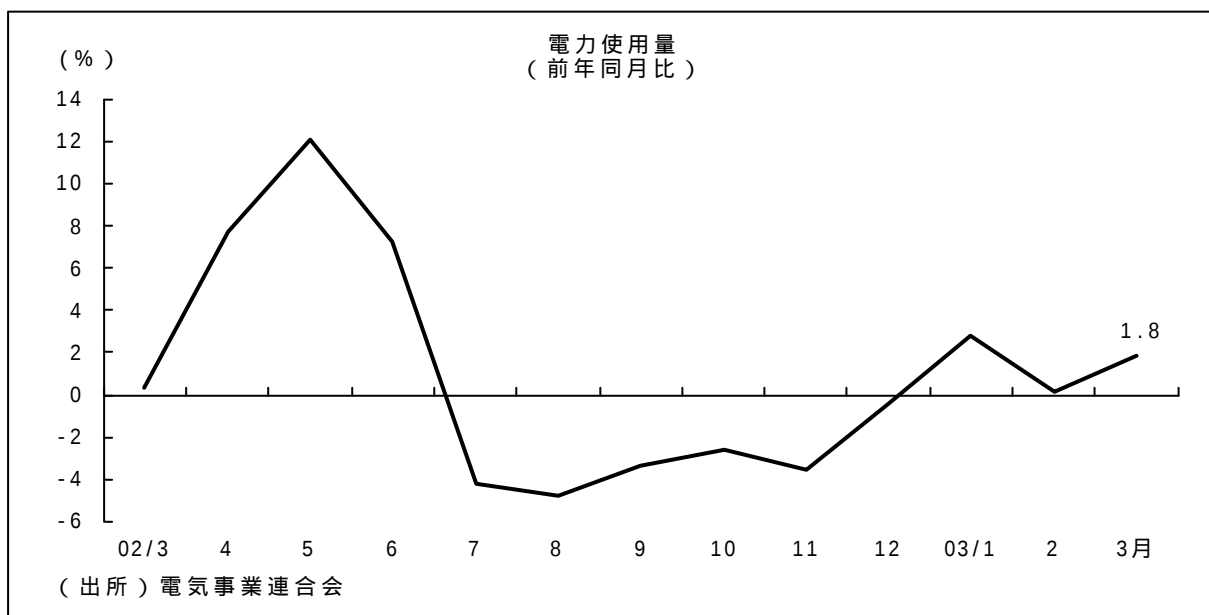


倒産件数は8件となり、前年同月と同水準となった。業種別にみると、建設業が4件、卸売業が2件、小売業が1件、製造業が1件となった。特別保証で借入をした後に倒産した企業数

は5件で、98年10月の実施以降の累計件数は284件となった。

負債総額は16億8,000万円となり、前年同月比103.4%増加した。

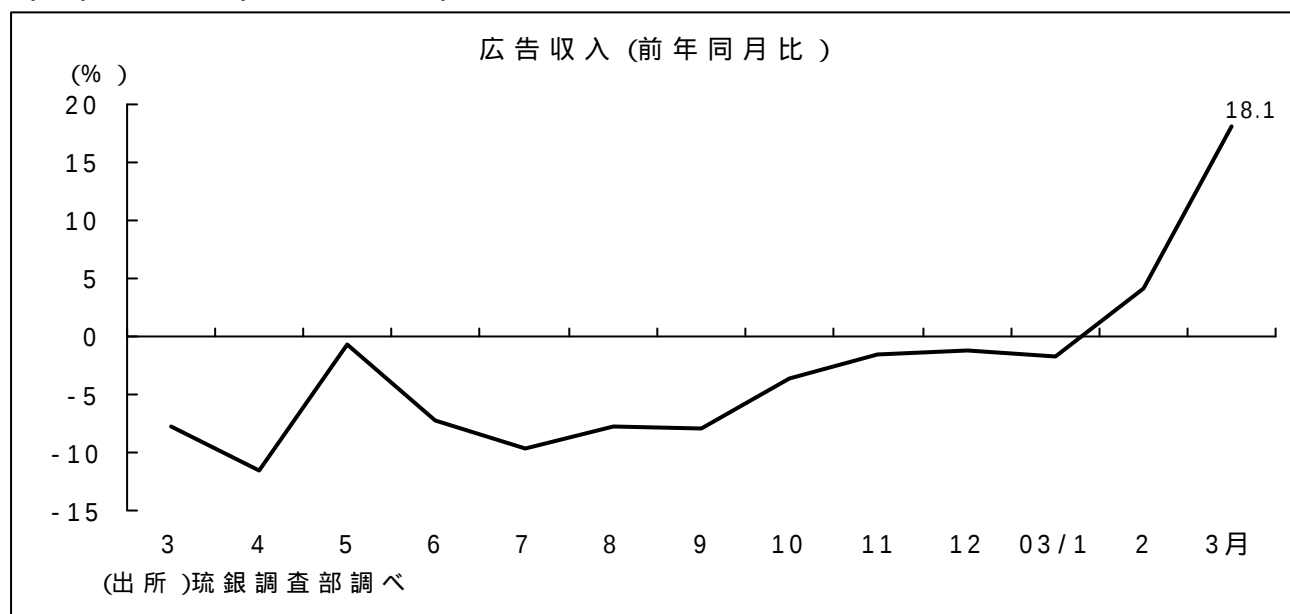
(4) 電力使用量：3カ月連続で前年を上回る



電力使用量 (3月) は、前年同月比 1.8% の増加となり、3カ月連続で前年を上回った。大口は5カ月連続で前年を上回り (同 2.1% 増)

小口は4カ月連続で前年を上回った (同 3.4% 増)。一方、業務用 (同 1.7% 増) は再び前年を上回った。

(5) 広告収入 (県内マスコミ) : 2 カ月連続で前年を上回る



3月の広告収入(県内マスコミ)は、官公庁出稿分が大きく伸びたことなどから新聞、テレビ、ラジオの各マスコミとも前年水準を上回り、

全体では 18.1%増と 2 カ月連続の増加となった。

5 . 業界予想 D I : 新車販売、セメント・生コンが 5 0 % 割れとなる

業 種	予想項目	03/3 ~ 5 月	4 ~ 6 月	5 ~ 7 月
百貨店・スーパー	売 上 高	5 8 . 3	5 8 . 3	5 8 . 3
新車販売	台 数	6 0 . 0	5 0 . 0	4 5 . 0
電気製品卸売	売 上 高	4 1 . 7	4 1 . 7	4 1 . 7
セメント・生コン	出 荷 量	4 2 . 9	5 0 . 0	3 5 . 7
鋼材・建材	売 上 高	4 3 . 8	5 0 . 0	5 0 . 0
建設受注	受 注 額	4 2 . 5	3 0 . 0	3 7 . 5
ホテル	宿泊客数	4 1 . 7	2 2 . 2	3 8 . 9
ゴルフ場	売 上 高	3 1 . 3	3 1 . 3	3 7 . 5

03 年 5 月 ~ 7 月の業界予想 D I は、50%超は前回調査時と変わらず 1 業種となり、50%ちょうどは 2 業種減って 1 業種となり、50%割れは 2 業種増加して 6 業種となった。

個人消費関連では、新車販売が 50%ちょうどから 50%割れへと悪化し、百貨店・スーパーは 50%超を続け、電気製品卸売は 50%割れを続けた。

建設関連では、セメント・生コンが 50%ちょうどから 50%割れへと悪化し、鋼材・建材が 50%ちょうどを続け、建設受注は 50%割れを続けた。

観光関連では、ホテル、ゴルフ場ともに 50%割れを続けた。

(注) 業界予想 D I は、業種ごとに、調査月を含む将来 3 カ月の前年同期比業況見通し (上昇、もちあい、下降) をヒアリングし指数化したもので、50%を基準として数値がそれより大きければ業況の改善、小さければ悪化の見通しが多いことを意味する。